

2018年2月21日
矢崎総業株式会社

矢崎グループ4社が「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定 「従業員が健康であること」を企業風土に

矢崎総業株式会社、矢崎部品株式会社、矢崎計器株式会社および矢崎エナジーシステム株式会社(以下、矢崎グループ4社)は、2018年2月20日、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人 2018～ホワイト500～」で4社一括での認定を受けました。

「健康経営優良法人～ホワイト500～」は、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業などの法人を顕彰する制度で、2017年度より開始されました。第1回目は235法人が認定を受け、第2回目となる今年は、当社を含め541法人が認定を受けました。

今回一括認定された矢崎グループ4社では、それぞれの独自性/主体性を尊重しながら、「従業員が健康であること」を企業風土として定着させることを目指し、引き続き会社と保険者(健康保健組合)が互いに連携しながら、心身両面の健康の保持増進に向けた活動に取り組んでいきます。

主な健康経営の取り組み

矢崎グループ4社では心身両面における健康課題に対し、下記の安全衛生活動方針に基づき健康保険組合を始めとする関係部署が連携しながら具体的な活動に取り組んでいます。

77期矢崎グループ 安全衛生活動方針

1. 法令遵守のもと、職制トップとすべての従業員が一体となった安全衛生活動を推進し、「安全風土」の定着を図る。
2. 事業場の主体的な安全衛生管理体制の維持強化を図るとともに、継続的な改善を行い、災害ゼロを目指す。
3. 職場コミュニケーションを更に高めるとともに、新たな施策を織り込んだ従業員の心身の健康保持増進を図る。

矢崎総業株式会社 取締役副社長



1) フィジカルヘルスに対する取り組み

- ・ 疾病の早期発見/治療のため、定期健康診断の受診率 100%に向けた啓発や呼びかけを繰り返すとともに、再検査対象者全員に受診勧奨を実施しています。
- ・ 禁煙の啓発活動を矢崎グループ 4 社で推進し、受動喫煙防止のため喫煙場所もお客様・従業員の動線を考慮しながら対応しています。
- ・ 健康保険組合の主導で外部医療機関と提携/委託し、矢崎グループ 4 社で特定保健指導の実施率向上を図っています。
- ・ 有所見者率[※]の低減を目指し、生活習慣病予備軍に対し生活習慣病改善プログラムを実施しています。

※定期健康診断を受診した労働者のうち、異常の所見のあった者の占める割合

2) メンタルヘルスに対する取り組み

- ・ 2009 年からストレスチェックを導入実施しています。ストレスの高い従業員には、産業保健スタッフが積極的に面談を勧奨し、メンタル不調者の早期対応を目指しています。
- ・ ストレスチェックの導入と同時に、メンタルヘルス不調の未然防止を目的とした社員教育を実施しています。さらに再発予防策として、私傷病休業明けの復帰者に対し、復職支援手順書に則った産業医面談/支援会議を実施しています。

3) 具体的な施策例

活動項目	実施内容
生活習慣病改善プログラム	生活習慣病予備軍から希望者を募り、運動プログラムや食事指導を実施して、血圧・血糖値・脂質の改善を図っています。順次、実施事業所を拡大中です。
休憩時間ウォーキング	休憩時間を活用したウォーキングイベントを定期的で開催し、運動習慣のきっかけづくりと従業員の健康増進を目指しています。
昼食の費用補助	食堂の有無に関わらず昼食の費用を補助し、きちんと食事を摂ることによる身体の健康づくりを推奨しています。
e-learning によるセルフケア教育	矢崎オリジナルのセルフケア教材を作成し、全従業員が e-learning で学べる環境を提供しています。

以上